

心と心、笑顔でつなぐ

ヒューマンフェスタ & ゆう・あいフォーラム を開催

亀岡市では、12月4日～10日の人権週間を前に、人権や平和意識の啓発、男女共同参画など、さまざまな視点から人権について考えるイベント「ヒューマンフェスタ2015 in かめおか〜いのちと平和笑顔でつなぐ」と「ゆう・あいフォーラム2015」を11月15日、ガレリアかめおかで開催しました。



▲ハート形のメッセージカードと手形を押しつつ作る「人権の木」



▲心を込めて、手形をベタッ



▲人KENまもるくんとあゆみちゃんがお出迎え

今年は「いのちと平和 笑顔でつなぐ」をテーマに開催。主催者を代表して、桂川市長が「命や平和、相手へのいたわりや思いやりの心を持つことの大切さを、イベントを通じて感じてください」とあいさつを述べました。

学博士)による講演では、「自立した幸せな生き方〜女と男、しなやかに楽しく生きる〜」と題し、永年よりそつた夫婦を例にあげ、「『ええ加減』心地よい』関係であるためには、自立した生き方をするように」と話されました。

この他にも、性の多様化について考えるジェンダーコンサートや、11のワークショップなどへの参加を通じ、訪れた人たちは男女共同参画について理解を深めていきました。

亀岡市では、12月6日に開催する第33回女性集会をはじめ、人権を尊重するまちづくりのため、今後も皆さんと一緒に学び、考える機会を大切にしていきます。

特設ステージでは、川畑忍くん(穂田野小学校6年生)と中川瑛介くん(育親中学校3年生)が人権作文を朗読しました。川畑くんは「困っている人に、勇気を出して手を貸していきたいです」、中川くんは「いつもそばにいてくれる人に感謝し、ありがとうの言葉を伝えたいです」と、自らの体験から、思いやりの心の大切さを伝えました。

他にも、人権アニメの上映やふれあい動物園など、楽しく人権について学ぶ機会となりました。

このフォーラムは、性別や年代に関わらず、多様な生き方を認め、男女共同参画社会の実現を目指し、市民の皆さんとの協働により開催したものです。

石蔵文信さん(大阪樟蔭女子大学健康栄養学部教授・医学博士)

このフォーラムは、性別や年代に関わらず、多様な生き方を認め、男女共同参画社会の実現を目指し、市民の皆さんとの協働により開催したものです。

石蔵文信さん(大阪樟蔭女子大学健康栄養学部教授・医学博士)

このフォーラムは、性別や年代に関わらず、多様な生き方を認め、男女共同参画社会の実現を目指し、市民の皆さんとの協働により開催したものです。

石蔵文信さん(大阪樟蔭女子大学健康栄養学部教授・医学博士)

このフォーラムは、性別や年代に関わらず、多様な生き方を認め、男女共同参画社会の実現を目指し、市民の皆さんとの協働により開催したものです。

石蔵文信さん(大阪樟蔭女子大学健康栄養学部教授・医学博士)

遊・You・かめおか ~12月のイベント情報~

写真で振り返る2015

12月14日(月) ~ 25日(金)

市の広報担当が、今年一年間に撮影した亀岡のお祭りや風景などの写真を展示しています。

JR亀岡駅をご利用の際は、ぜひご覧ください。

●ところ JR亀岡駅観光案内所 (駅舎2階南側ショーウィンドウ)

亀岡生涯学習市民大学 第6講座

12月12日(土) 午後1時30分~3時30分(午後1時開場)

江戸時代から栄え、日本を代表する美術の一つである「琳派」の系譜をたどり、現代の人々を魅了し続ける美の世界を紹介します。

●演題 「琳派 一麗しき日本の美」

●講師 細見良行さん(細見美術館館長)

●入場無料 (当日参加可)

●ところ ガレリアかめおか2階 大広間

●問い合わせ ガレリアかめおか ☎29-2700

ハイ! 広報広聴係です

日毎に冬らしさを感じるようになり、師走に入り、残り少ない今年のカレンダーを見るに、経つ時間の速さを感じます。

毎年、キラリ☆亀岡12月号2面・5面では、「皆さんとともに振り返る1年」の特集を掲載しています。今年も市制60周年といつこともあり、さまざまなイベントが地域で開催されました。取材で伺った先ではいつも、市民の皆さんの地域での活動や思いがまろやかにつなぐられていること、感じながらシャッターを切っていたことを思い出して、編集を進めておりました。

「市民力で未来を拓く」は、桂川第7代亀岡市長のスローガンです。市民の皆さんの、日常の中での取り組みやふさふさへの思いが、未来のまちづくりにつながっていることを、今後も広報を通じて発信していきたいと思っております。

今年もキラリ☆亀岡を愛読いただきありがとうございます。来年もよろしくお願いたします。

(小林)

安心安全

な学び舎づくり

インターナショナル
S
セーフ
S
スクール

第六保育所

(平成27年10月3日ISS認証取得)

「けがや病気をしない丈夫な体をつくり、みんなが安全・安心な保育所にしよう」

第六保育所では、子どもたちの丈夫な体を育てるために、散歩や園庭遊び、手作り遊具(竹馬など)を用いた遊びなど、戸外で伸び伸びと遊ぶことを「保育の柱」としています。自然と触れ合い、発見を楽しんだり興味を持ちたりすることで感性に刺激を受け、乳幼児期の子どもの心と体が健やかに育っています。

また、ISS活動の積み重ねにより子どもたちは、廊下を走る友だちに「安全・安心ISSやで」と声をかけ、お互いに気をつけ合う姿がみられます。自分の体も友だちの体も大切に思えることはとても大事な力だと感じます。

今年、地域の高齢者の皆さんとの交流会を開催し、一緒に歌って遊ぶことで顔見知りになり関係が深まっています。これからもより一層、子どもたちを中心に、地域の皆さんやご家庭と保育所が連携を図りながら、安全で安心な保育所づくりをすすめていきます。

▲ISS認証旗とISS園児手作りボード

広報クイズ

はがきにクイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、広報紙「キラリ☆亀岡」の感想を書いて、〒621-8501(住所不要)市秘書広報課へ。

正解者の中から抽選で5人に図書カードを差し上げます。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

ヒントは、広報紙の中にあります。【前回の答え】『10』でした。たくさんのおはがき、ありがとうございました。

締切日 平成27年 12月28日(月) (必着)



明智がめまる